

# 安全管理体制の強化

## 安全管理方法

### ▶ 保安監査

鉄道の現業5部門に対して、毎年約1ヵ月かけて保安監査を実施しています。現場調査・書類調査・ヒアリングなどを通じて、鉄道の安全が確実に確保されているか、旅客サービスが適正に行われているかをチェックします。監査結果は社長、安全統括管理者、監査役に報告します。指摘事項があった場合は半年後にフォローアップを実施し、改善状況を確認します。また定期監査のほか、必要に応じて臨時に監査を行います。



保安監査

### ▶ 安全マネジメント監査

保安監査と同時に安全マネジメント監査も実施しています。鉄道の現業5部門だけでなく、社長、安全統括管理者、人事担当、経理担当、経営政策担当、安全推進部および鉄道企画部も監査対象になっています。

安全管理規程に則り、安全管理体制が適切に確立され、実施され、維持され、機能しているかを確認します。

### ▶ 鉄道安全大会

安全管理体制における社員教育の一環として、平成24年3月に第4回鉄道安全大会を開催しました。出席者は約260人で、来賓に近畿運輸局鉄道部をお迎えしました。大会においては、「平成23年度の安全マネジメント報告」「各部門安全重点施策発表」を行いました。また、基調講演として早稲田大学創造理工学部の小松原教授より「『人に頼る安全』を巡って」を受け、ヒューマンファクターの面から、エラー防止の取り組みについて学びました。

最後に参加した役員・社員全員で安全基本方針を唱和し、安全の誓いを新たにしました。

## 訓練

### ▶ 地震・津波対応訓練

列車事故、自然災害など緊急時における対応力の強化を目的とした訓練を毎年実施しています。本年度は、平成24年2月に東南海・南海地震の発生と津波の発生を想定した訓練を実施しました。約210人が参加し、本社に対策本部を設置、現場の設備点検と仮復旧作業、地下線における津波からの避難誘導、運転再開計画の策定、情報収集・伝達などを行いました。



訓練当日の様子

